



2018年1月18日

各位

会社名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 船橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

資本業務提携に向けた協議開始に関するお知らせ

株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：福永 健司、福岡市）は、2018年1月18日開催の取締役会において、公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター（理事長：奈良間 功、静岡県磐田市、以下、安評センター）と資本業務提携（以下、本提携）に向けて協議を開始することを、決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 資本業務提携の目的、理由及び概要

当社グループは、2017年5月に公表いたしました「中期経営 Vision2020」において、グループ中核事業であるCRO事業を中心とした差別化・高付加価値サービスの提供、及びM&A戦略推進を掲げ、持続的な成長構造の構築に取り組んでおります。そして、この取り組みを実行すべく、優れた技術を有し、当社の事業展開を補完するような企業との提携を検討しております。

このたび、本提携の協議を開始する安評センターは、「高い科学性と信頼性に立脚した化学物質の安全性評価をとおして、より良い社会の実現に貢献する」ことを使命と位置づけ、多数の製薬企業・化学企業等からの基金を元に1978年に設立された財団であり、GLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）及びAAALAC（国際実験動物ケア評価認証協会）認証施設において、医薬品、食品、食品添加物、農薬、飼料添加物、一般工業化学物質等の化学物質の安全性を評価するための各種試験研究を受託しています。

本提携は、当社CRO事業の強みである非臨床薬効薬理試験分野と安評センターが基幹事業としている安全性試験分野を融合することにより、網羅的な非臨床試験が受託可能となるとともに、長い歴史の中で蓄積されたそれぞれの広範な顧客・営業網の共有を通じて、両社CRO事業の競争力強化につながると判断し、協議を開始することになりました。

また、当社グループの中核子会社である[株式会社新薬リサーチセンター](#)（以下、新薬リサーチ）においては、研究施設の設備稼働率が恒常的に高水準で推移しており、このため繁忙期における相当額の受注機会損失が課題となっておりました。今回の取り組みにより、新薬リサーチにおいては、安評センターが有する強力なGLP及びAAALAC研究施設をフルに活用することにより機会損失を防ぐことが可能になると同時に、安評センターにおいても研究施設の稼働率上昇により、収益の改善が期待されます。

本提携に向けた具体的な条件についての協議は、今後、当社と安評センターとの間で、進めていく方針ですが、資本業務提携の手法として、新薬リサーチの事業譲受時（[「2013年4月18日「子会社の事業譲受けに関するお知らせ」](#)リリース参照）と同様に、当社（当社グループ会社を含む）の100%出資である新規設立子会社に、安評センターが営むCRO事業の事業譲渡を行い、全ての試験契約及び職員の承継を行うことを想定しております。

今後、当社と安評センターは、本提携の具体的な条件を合意できるように誠実に協議してまいります。

2. 本提携の相手先の概要

| | | | |
|---------------------------|----------------------------|------------------|-------------|
| (1) 名称 | 公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター | | |
| (2) 所在地 | 静岡県磐田市塩新田 582-2 | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 理事長 奈良間 功 | | |
| (4) 事業内容 | 医薬、農薬を主に化学物質の安全性に関する試験研究受託 | | |
| (5) 設立年月日 | 1978年9月 | | |
| (6) 上場会社と当該財団との間の関係 | 資本関係 | 特記すべき資本関係はありません。 | |
| | 人的関係 | 特記すべき人的関係はありません。 | |
| | 取引関係 | 特記すべき取引関係はありません。 | |
| (7) 当該財団の最近3年間の経営成績及び財政状態 | | | |
| 決算期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 | 2017年3月期 |
| 総資産 | 2,701,609千円 | 2,504,125千円 | 2,446,494千円 |
| 純資産 | 2,186,994千円 | 1,996,309千円 | 1,915,261千円 |
| 経常収益 | 813,104千円 | 673,772千円 | 655,837千円 |
| 当期経常増減額 | △144,030千円 | △185,711千円 | △80,459千円 |
| 当期一般正味財産増減額 | △144,260千円 | △190,685千円 | △81,047千円 |

(注) 財団の経営成績につきましては、公益法人会計基準に基づき作成された正味財産増減計算書の科目及び数値を記載しております。

3. 今後の見通し

本提携が、当社の2018年3月期の連結業績に与える影響につきましては、現時点において未定です。

今後、本提携に向けた協議の進捗に応じて決定または発生した事実につきましては、速やかにお知らせいたします。

◆ご参考 : GLP(Good Laboratory Practice)

GLPとは、非臨床試験において、試験施設(場所)の設備・機器、組織・職員、検査・手順・結果等が、安全かつ適切であることを保証する「優良試験所規範(基準)」です。

AAALAC International (The Association for Assessment and Accreditation of Laboratory Animal Care International/国際実験動物ケア評価認証協会)

AAALAC Internationalは、世界で優唯一の国際的な第三者評価機関で、3R (Reduction (使用する動物数の削減)、Replacement (動物を使用しない 実験への置き換え)、Refinement (動物の苦痛軽減) の原則を踏まえ、科学社会におき動物の人道的な取り扱いを推進しています。世界中の900を超える医薬品およびバイオ技術企業、大学、病院およびその他の研究機関がこの認証を取得しており、動物実験及び動物管理が倫理的に実施されていることの実証として認められています。

以上